

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや



SNS 随時更新中!

ホームページはこちらから→

<http://www.tsukimoto.info>
レポート
【第 60 号】


令和3年度決算審査の報告 月本の提案の効果として 学校ふるさと応援寄附金受納額過去最高

～地域防災力・介護福祉・教育・文化・下水道事業会計などの審査報告～

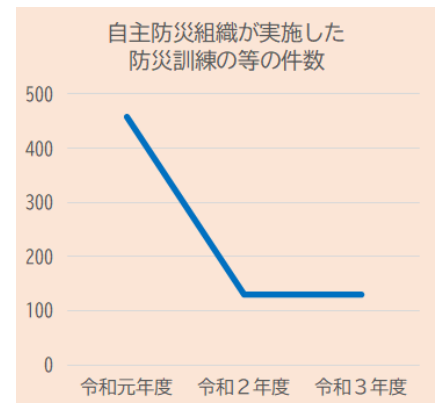
✓地域防災力を高めるための仕掛けを提案

3年に及びコロナ禍で地域の防災訓練等の実施数が減少しています。当然のことながら、コロナ禍でも災害発生の可能性があり、来る災害に備えていくという意識が共有されているものの、訓練による感染リスクを警戒し、実施に至らず、訓練と研修を合わせて令和元年度 459 件から、令和2年度 129 件・令和3年度 130 件と減少し、実施したものの多くは研修形式だったと報告を受けています。

それぞれの自主防災組織によって、年齢構成や地域性等の違いから、抱えている課題は異なります。しかし、防災を絡めたイベントや防災訓練を実施することは重要であることから、自主防災組織の活動状況や補助制度の運用状況の調査実施を求めました。

この調査を実施することで、これまで活動に積極的ではなかったり、活動したいけど、感染症リスクを考えてできなかったりした自主防災組織が、活動を進める新たな支援の検討につながります。

3月の予算審査特別委員会での月本が提案した防災士の活用について、属性調査等を経て、川崎市危機管理本部は、10月26日に全市初の防災士向けの「防災施策・取組についての説明会」を麻生区で開催し、続いて、全区で開催予定です。月本も防災士としてこの説明会に参加し、防災士の横のつながりをつくり、地域防災力を高める新しい力にしたいと考えています。

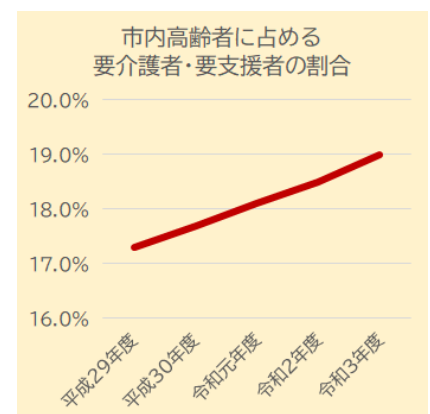


✓介護福祉の分野におけるケアマネージャー不足対策へ

年々高齢化が進む中、高齢者に占める要介護者・要支援者の割合も高まっていて、令和3年度では 19%に達しています。そのため、介護職が忙しくなる中、ケアプランを考える要であるケアマネージャーの業務量も多くなっています。

令和5年度からの介護保険制度の新しい計画に向け、調査が始まりますが、現時点においても厳しい状況であると現場から声が寄せられています。

要介護者の事務が逼迫すると、要支援者は後回しになる可能性があります。要支援者に速やかなプランを立てることが予防につながり、この事務が遅れると、介護度が進んでしまう可能性があります。介護の現場は常に人が足りないと言われていますが、そもそものケアプランが立てられなければ進みませんので、情報共有によるケアマネージャーの離職対策と速やかな実態把握を要請しました。



✓キャリア教育の専門チームづくりを提案

京都まなびの街・生き方探求館の事例（詳しくは月本たくやレポート第 59 号）をもとに、市議会で質問。川崎市においてもキャリア教育は、キャリア在り方・生き方ノートをもとに、「総合的な学習の時間」で進められていますが、どの学校でもキャリア教育の機会平等につながるように、小学 4 年生から中学生まで、社会教育や体験型教育も含めた体系的なプログラムを作るため、専門チーム作りを提案しました。

✓川崎市アートセンターが市民に親しまれる拠点を目指して

川崎市アートセンター映像館には、予約システムがなく、現金決済のみになっています。ゆえに、満席のため入場をお断りした上映もありました。指定管理計画にシステム検討が入っていますが、進んでいないため、実施に向けた速やかな対応を求めました。

一方、コラボレーションスペースは、アートセンター主催行事や映像館等の施設利用者の附帯利用などによって、様々な活用の可能性があります。夏祭りの実施や町内会による防災イベントの実施など、令和 4 年度に入り、活用が進んでいます。

今後、アートセンターが市民に親しまれる芸術文化の拠点施設を目指し、新百合ヶ丘の芸術文化の連携を進めて行くことを提案しました。



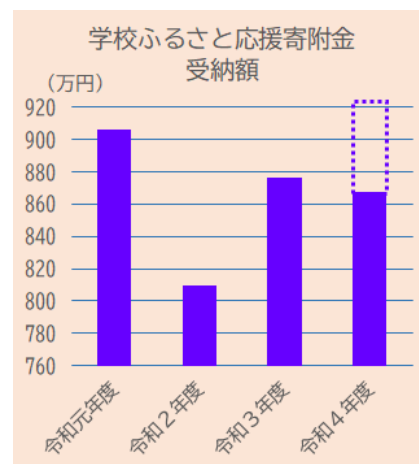
✓月本の提案から学校ふるさと応援寄附金が過去最高へ

令和 3 年の予算審査特別委員会で、ふるさと納税の流出抑制策の一つとして、学校ふるさと応援寄附金の活用について、各学校・保護者への周知強化を提案しました。令和 2 年度はコロナ禍で受納額が減少していましたが、令和 3 年度はコロナ禍ながらも、前年度より増加、そして、令和 4 年度は 9 月時点で 867 万円を超えているため、過去最高額を更新する見通しになりました。

川崎市学校ふるさと応援寄附金は、学校ごとへの寄附ができて、防球ネットや実験器具などを始め、用途が分かりやすいという特徴があります。

令和 3 年の月本の提案により、市はパンフレットを作成し、各学校へ配布。さらに、令和 4 年度は合同校長会議において、制度の説明を行ったことで、周知が広がり、受納額が過去最高額になる見通しです。

制度の趣旨をたくさんの方にご理解頂き、子どもたちの学びの環境がよくなるよう、今後も努めて参ります。



✓下水道事業会計の不認定の意思表示

下水道事業において、令和 3 年度を含む不正行為の報告がありました。決算審査特別委員会環境分科会の中で、決算書の訂正の可能性がある旨の答弁があったことは、前代未聞です。また、令和 3 年度に不正行為発覚後、調査を実施しながらも、警察の要請がないにも関わらず、警察の捜査を理由に庁内調査を停止させ、全容解明に時間を要しました。本来であれば令和 3 年度中に調査結果が出ていたはずですが、調査延期により令和 4 年度に問題を先送りした責任があるため、今回は不正行為の内容や金額に対しての問題に加え、組織の問題が大きいと判断し、不認定の意思表示。市議会では私を含む 25 名の議員が不認定の意思表示をするも、賛成多数で認定されました。

月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。

川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書（麻生区・国会担当）等を経て、平成 23 年より川崎市議会議員。

現在 川崎市議会議員（麻生区選出、無所属、当選 3 回） 文教委員会委員 防災士

神奈川県サッカー協会代表理事 NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長

神奈川大学川崎市宮陵会監事 三田学園同窓会東京支部幹事

川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 川崎百合ライオンズクラブ 2017-2018 年度会長

五力田町内会地区長 麻生区白鳥在住 家族：妻（会社員） 趣味：KUBB（スウェーデン発祥のスポーツ）



月本たくや事務所

麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103

TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

Email takuya@tsukimoto.info

月本たくや

検索

